



YouTube 連動企画 マンホールの世界へようこそ! 土木の入口とは?



「マンホール」は、「ホール」は「穴」、つまり、人が上水や下水道をメンテナンスするために出入りするための入口がマンホール蓋というわけです。上水道や下水道は地面の中にあるためマンホール蓋は上水道や下水道の存在を表すものといえますね。



写真1は沖縄県那覇市にあるマンホール蓋です。魚が口を開けて楽しく泳いでいるのがデザインされています。この蓋は、「下水道で沖縄の綺麗な海(写真2)を守りたい」という土木関係者の思いが込められています。なかなか素敵ですよ。このようにデザインが施されたマンホール蓋のことを「デザインマンホール」と呼びます。デザインマンホールは、地域の歴史や文化や自然環境などをさまざまなものがデザインされており、全国で約1万種類あるといわれています。諫早眼鏡橋(写真3)・諫早市や、銀河鉄道999(写真4)・北九州市といったアニメのキャラクターがデザインされた蓋もあります。最近では、ポケモンがデザインされた「ポケふた(写真5)」と呼ばれるデザインマンホールが登場し、大きな話題になっています。また、マンホール蓋がカードになった「マンホールカード(写真6)」



写真6 マンホールカード



© 渡辺航 (秋田書店)



写真5 ポケふた



写真3 諫早眼鏡橋



写真4 銀河鉄道999

ラブラブ土木ーみなさん、こんにちはー土木学者のデミー博士です。2023年になり、2021年からスタートしたデミー博士のラブラブ土木は3年目に突入しました。読者に好評で、多くのみなさんからラブラブ土木、読んでよー！って応援のメッセージを頂いています。ラブラブ土木で紹介した内容は、YouTubeチャンネル「デミー博士の土木TV」においても映像として公開しています。チャンネル登録者数は少しずつ増加し、2023年5月に3000を超えました。ラブラブ土木が少しずつ広がっています。

さて2023年一発目のラブラブ土木は密かなブームの「マンホール蓋」がテーマです。マンホール蓋は、道の上にある鉄やコンクリートでできた丸型の蓋のこと。蓋の中(奥)には、私たちの生活になくてはならない上水道や下水道などがあります。上水道は、川やダムなどの水を家庭で飲めるようにするための施設。また、下水道は家庭から出たし尿や汚水を綺麗にして海や川に流すための施設のことです。当然ですが上水道や下水道の工事は土木の仕事です。上水道がなかったら？喉が乾いたら当たり前。水が飲めなかったり、炊事・洗濯・入浴ができなくなります。

また、下水道がなかったら？「うんち」や「おしっこ」や家庭から出る汚水が町中に溢れてしまいます。上水道と下水道がなくなったら、私たち人間や海や川などの植物や生物が住みにくくなったり、住めなくなったりします。環境が破壊され、病気になったりもします。上水道や下水道はとても大切な土木なんです。

やマンホール蓋がデザインされた「マンホールTシャツ」などのグッズ、マンホール蓋のデザインが焼き印された「マンホールどら焼き」などのお菓子もあります。デザインマンホールは、北海道から沖縄まで全国の津々浦々に存在することから、写真撮影やマンホールカード集めて全国を旅するなどマンホールマニアもいます。ナント！先ほど紹介した那覇市のマンホール蓋はデザインマンホールの原点と言われていますので、ぜひ、沖縄に行った時に探してみてください。那覇市内ならどこでもあります。例えば、那覇空港や国際通りなど。実はデミー博士はマンホール蓋がきっかけで土木の道に進みました。驚きでしょ？(笑)橋やダムではないんです。私は田舎育ちでして、都会の高校に進学しました。ある時、高校の周りの道にある鉄の丸いものを見つけ、調べるとその下には下水道があることを知りました。同時に私の育った町には、下水道がないことも。つまり、私の育った町にはマンホール蓋がなかったんです。下水道を調べていくと土木の仕事に辿り着き、土木の使命と価値に憧れて土木の仕事に進もうと決めました。私にとってマンホール蓋は「土木の入口」でもあります。

今回のラブラブ土木は、YouTube連動企画として、動画ではデミー博士が長崎市内を歩きながら伝説の激レアマンホール蓋を探したり、マンホールカードを入手するなどマンホール蓋の楽しみ方を紹介しています。ぜひ！YouTube映像もお楽しみください！



youtubeチャンネル